

うえだ オレンジベスト 見守り 情報

--- 上田市少年育成センター 通信 ---

上田市教育委員会生涯学習・文化財課 上田市 大手 1-11-16 上田市役所南庁舎 電話:23-6375 FAX:23-6368 令和7年9月10日 R7-3号

「地域の皆様に守られて」

上田市立北小学校 校長 堀内絹予

(令和7年度上小校長会会長)



上小地区上田市には小学校24校、中学校11校があり、各校が特色をいかしながら、地域に開かれた、地域と共にある学校を目指しております。

地域の皆様には、日頃より各校の子どもたちの安全・安心のため、大変ご尽力をいただいております。あらためまして、御礼申し上げます。

さて、本校北小でも地域の皆様から多くのご支援をいただいておりますが、その中から今回は「安心・安全」という観点からご紹介させていただきます。

北小学校は全校児童383人の中規模校です。学校教育目標に「花とみどりと笑顔の学校」を掲げ、子どもたちは明るく元気に過ごしております。

朝、登校時は、子どもたちと一緒に歩いてくださる保護者の方や地域の方がいらっしゃいます。「一緒に散歩で歩いているだけだよ」とおっしゃいながら、毎日低学年の子と学校まで来てくださる方。一緒に歩いてきた子どもたちは笑顔で「おはようございます」と昇降口に入ります。また、北小学区は国道18号線もあり交通量が激しいですが、「国道を横断するところが心配なので」と横断歩道で子どもたちを見守ってくださっている地域の方もいらっしゃいます。本当にありがたいことです。



交通安全に限らず、子どもたちの周りは危険も潜んでいます。北小学校では一年生の4月の始めに防犯教室を行っています。地域には子どもを守る「安心の家」があることを知り、子どもたちはここでも地域の皆様に守られていることを学びます。登下校時や遊んでいる時、何か困ったことや怖いことがあったら、いつでも「安心の家」の方等に助けを求めることができる。子どもたちが地域で安全安心に過ごすことができるのも地域の皆様のお支えがあるからです。こども安全安心見守り委員の皆様はじめ、地域の皆様、いつもありがとうございます。

最後に、北小では、昨年度より地域の方と共に「防災学習」を進めています。いざという

時は、守られているだけでなく、地域の方と一緒に力を合わせて命を守らなければなりません。避難訓練と一緒にやったり、本年度は夏休みに「北小応援団避難所体験」として段ボールベッドを組み立てたり、体育館で一泊して皆で力を合わせたりと不便を体験する避難体験をしました。このような貴重な体験ができるのも北小応援団や自治会、北部町づくり協議会等の地域の皆様のご尽力のお陰です。ありがとうございます。【次頁に続く】



各校には地域の皆様に守られていることがたくさんあります。安全見守り、地域パトロール、補導等、これからも皆様にお世話になりながら、よりよい社会を一緒に創っていく子どもたちをしっかりと育てていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

第50回 長野県青少年補導活動推進大会

～ 伸びよう 伸ばそう 青少年 ～ 報告



県下の 青少年補導委員 県内19市の関係者が一堂に会し、日ごろの活動における諸問題や成果を持ち寄り研修を行い、青少年補導活動の一層の発展に資することを目的に、7月10日(木) 中野市民会館ソラホールにて大会が開催されました。

主催：県青少年補導委員会連絡協議会・県青少年補導センター連絡協議会・
県子ども・若者育成支援推進本部・中野市

上田市からは、少年補導委員4名と少年育成センター事務局4名が大会に参加しました。本会からは、副会長：佐藤久二夫理事が少年補導委員歴20年以上ということで、表彰を受けました。また、当日の講演内容の一部を紹介します。



演題 **子どもを暴力の被害者にも、加害者にも、傍観者にもしないために
私たちおとなができること**

講師 **NPO法人子ども・人権・エンパワメントCAPながの 理事 矢島 宏美 氏**



私達は、子どもを「誰でも生まれながらにしてさまざまな素晴らしい力を持つ

人権侵害の行為ですと矢島氏は訴えていました。

また、「暴力に会わないようにする方法にどんなものがあるのでしょうか？いくら子どもが心配でも、大人は、一日中そばにいて守ることができません。それには、何かあったときに子どもがどう対処できるかを教えておくことが大事になってくるのではないのでしょうか。そのために、ワークショップの中で、子どもたちが暴力に会いそうになったら①NO「いや」と言っていんだよ②GO逃げていいんだよ、特別な叫び声を出そう③TELL信頼できる大人に話そう、こうした行動が取れるようにしている。」とお話されました。

ている存在」ととらえ、子どもの話に傾聴しながら、子どもたちが「安心して」「自信を持って」「自由に」生きる権利があると自覚できるようにと願って活動をしています。そして、子どもでも、大人と同じように一人の尊厳を持った大切な存在であると考え、活動に取り組んでいます。

そして私たち大人が出来ることは、「子どもの話を『聴く』こと」であると提言をいただきました。矢島氏が、その時のポイントも語ってくれました。

ワークショップを行う中で、子どもたちが自覚的に「暴力ってどんなこと？」を掘めるようにします。日常に起こる事案から、一人で判断するのではなく、友達と相談して決定できるようにします。例えば、Aさんの具体的な、LINEのやりとりをしているときに、『その言葉を使わない方がいいよ！』と助言するつもりで『その言葉ダメ』と送ると、相手から『きもーい。死ね！』と返ってきた。』という場面を提示し、それに対する気持ちや状況を皆で話し合いながら、これは、「悪口」や人権侵害に当たる言葉であることを学んでいけるように導くというお話を聞くことができました。暴力と聞くと「殴る」「蹴る」「悪口」を思い浮かべますが、実は子どもたちは、周りが考える以上にたくさんの暴力被害にあっています。例えば、いじめ、痴漢、誘拐、性暴力、虐待などさまざまな暴力です。これらは、子どもの心とからだを深く傷つけています。暴力は、

①否定せず、アドバイス、一生懸命、聴きましょう。

②「話してくれてありがとう」と伝えましょう。

③自分を責めていたら、「あなたが悪いのではない」と伝えましょう。

④「悲しい」「こわい」・気持ちの言葉を繰り返し共感して聴きましょう。

⑤びっくりするようなことを言っても、まずは「あなたを信じるよ」と伝えましょう。

⑥「どうしてよいかわからない・・・」言ったら、「何かできることはあるよ」と一緒に考えましょう。

⑦将来の不安を訴えたら、「きっと大丈夫だよ」と希望が持てるように対話しましょう。



～ 安全安心見守り委員の活動紹介② ～

夜間巡回

7月4日(金) 20:00-20:30

市民の文化交流拠点 サントミュージゼの施設・芝生広場～アリオ上田店周辺と、上田城跡公園やぐら下多目的広場・上田駅前周辺を少年育成センター活動とともに2週にわたり夜間巡回しました。



今回は、北部ABC地区・西部ABC地区・塩尻地区の皆さんに御協力をいただき、「青少年の非行・被害防止全国

強調月間」の活動の一環として夜間に移動巡回を実施しました。巡回前に夕立があり、サントミュージゼの芝生で遊んでいた人が皆、アリオ二階のフードコートに避難してしまった後、巡回しました。



上田警察署生活安全課の生活安全少年係の方から最近の少年補導状況のお話をうかがった後に巡回をスタート。

サントミュージゼ芝生広場で2,3組の高校生風の若者たちが居て、「早く帰ってね!」と声がけすると「はい、分かりました。」と返事をしてくれました。

アリオ二階のフードコートでは、高校生が100人ほど、食事をしていました。皆、文化祭後にグループで食事に来たり、おしゃべりしたりの若者が多く見られました。

全体では、(メッセージ入りの)ポケットティッシュを配りながら、文化祭の様子や帰宅時間の確認等声かけと見守りの活動をしました。

若者たちは、皆気持ちよくあいさつを返してくれました。

サントミュージゼ / アリオ上田 /

上田城跡公園やぐら下多目的広場 / 上田駅前 周辺

スケートボード・バスケットボールを楽しむ若

者たちの姿は見られませんでした。(夕立があったので) 駅前は、文化祭の準備からか、やや帰宅時間が遅くなって、上田駅に向かう高校生の姿が多く見られました。

参加された委員さんからは「サントミュージゼの芝生広場にはベンチがあり、見通しの良い安全安心な場所として、特に、夜間は利用されているのだろーと思いました。当日は雨模様で芝が濡れて高校生が少なかった。」「事件や犯罪を未然に防ぐためには、継続して防犯活動をするこゝとや声かけは見えない効果があると思えた」との感想をいただきました。

防犯協会主催 駅前パトロール

8月22日(金) 19:30-20:20



上田市防犯協会が実施している

「上田駅前周辺の週末パトロール」

の一環として、こゝども安全安心見守り

委員会が協力団体として参加しました。当委員会は、城下AB地区及び神科AB地区の皆さんと小中学校の校長先生と先生方にも参加いただきました。今年度は、市役所が出発点となり、お城口コースとアリオコースに分かれて巡回活動を実施しました。

巡回を行って感じた事を何点かにまとめてみました。

- 1) 歩道に面した居酒屋入り口に、喫煙場所が設置されていて、歩道にはみ出して喫煙している人が多く見られました。
- 2) お城口右側奥の駐車場や温泉口左側のエレベーター下に暗く、見えにくいスペースが溜まり場になりそうだと気づいた。
- 3) 午後8時過ぎまで、アリオのフードコートで過ごす高校生が多く居ることが分かった。

「ゲーム・スマホより楽しいものを見つけられるかな」

研修会・講演会 東御市 ICT 推進委員 小菅 毅先生



東信、4 市（上田市・東御市・小諸市・佐久市）の少年補導委員会が一堂に会し、研修会と情報交換会を今

年度は、8 月 8 日（金）に東御市で開催されました。昭和 61 年から続いている会ではありますが、近年の青少年の在り方の変化から補導委員会の活動の見直しがどの地域でも課題となっていました。本会にとっても貴重な情報交換の一時となりました。

小諸市では、小中一貫校の開校にともなう委員会活動の継続性について課題について発表がありました。具体的には、小中一貫校が R10 年度開校するに当たって委員会の括りを変化させるかなど、決定していかなければならないことが出ていることをお話いただきました。

佐久市からは、補導委員の担い手の問題がありました。この問題は、東御市、上田市でも課題になっていることで、どの市でもこれからの方向を考えていくことになりそうでした。

上田市からは、補導委員会と事務局との関係や委員の任命に関する手続きについての提案がありました。

東御市からは、補導委員の取り組み状況について提案され、補導委員の人数規模や役員改選についての示唆をいただきました。

全体研修会では、小菅毅氏から講演をいただき

ました。「ネット依存」疑いの中高生が増加していることの指摘がありました。

その治療には、専門家の治療が必要になる事や長い時間がかかる事も示されました。そのためにも、ゲームやスマホに頼らない子育て法や地域との関わりが必要になることが伝えられました。これは、大人である我々が自覚して、子どもたちと接していくことが必要になるとも感じました。

また、前頭葉の発達、中学生から高校生の時に最も発達します。その時期の体験活動や大人との関りが大きく影響することが語られました。自分なりの目標を持ちながら、楽しく生活することを目指して欲しいと強調されました。

懇談会を通して、有意義な情報交換を行わせていただきました。

< 東御市少年補導委員 萩原会長からメッセージ >

○ゲーム・スマホが非行の入り口になっている。この事実を踏まえて、我々が地域にどのような貢献をできるのかを考えていく時が来ている。この会が、52 年間続いている意味をしっかりと考えて、これからの少年補導委員として活動を考えていきたいと思います。



お知らせ 掲示板

毎月 第三日曜日は
「家庭の日」 です

7月-11 月 環境浄化(環境チェック)活動期間

- 9/3 (水) 少年育成センター活動「駅前・列車巡回・しな鉄・別所線」<内村・丸子中央・特別>
- 10/2 (木) 理事会<中央公民館>・全体研修会<文化会館>
- 10 月中旬 少年育成センター活動 <依田・長瀬・塩川・特別>
- 11/4 (火) 『子ども・若者育成支援強調月間』『有害環境浄化活動強化月間』
上田駅前啓発活動 <県上田地域振興局・見守り委員会役員・少年育成センター事務局>
- 11/8 (土) 青少年健全育成県民大会 岡谷市 <希望委員>
- 11 月中旬 少年育成センター活動 <武石・豊殿・東塩田・特別>
- 11/27(木) 地区会長・班長会<中央公民館>